

# 砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

担当課長名 酒井 彰彦

## 事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業(補助)	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県吉野川市美郷	箇所名	大神地すべり防止区域		
事業概要					
横ボーリング工 L=1,550m					
事業の目的・必要性					
<p>当区域においては、市道擁壁の変状やクラックなど地すべり兆候が多数見受けられ、人家21戸及び市道2,988mなどに被害を及ぼす恐れがあり、早期の対策が必要であった。</p> <p>このため、平成21年から地すべり対策事業を再開し、地下水を排除する抑制工を実施し、国土の保全及び民生の安定を図る。</p>					
総事業費		334百万円			
事業概要図・写真					
 <p>施工箇所</p>		 <p>計画平面図</p>			
 <p>完成写真</p>					

## 事業評価結果

評価項目	評価内容
①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費350百万円→精算全体事業費334百万円 計画工期H21～H26→実施工期H21～H27 (S42～S61:220百万円, H21～27:114百万円) 着手時B/C=1.8→完成時B/C=4.0
②事業の効果の発現状況	・保全対象の人家21戸や市道が保全されるとともに、市道崩壊による集落の孤立化や電柱などのライフライン切断による波及被害の防止が図られた。
③事業実施による環境の変化	・横ボーリング工の掘削に伴い発生する濁水を沈静槽を設けて抑制した。
④社会経済情勢の変化	・近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害による地域の安全を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。
⑤課題と今後の事業への反映	・当区域は階段状の地すべり地形を成しており、住宅や道路・畑などの影響が多く、関係者との調整に時間を要した。今後とも事業に影響する関係機関との調整を積極的に実施し、円滑な事業進捗を図りたい。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成21年	1.8	976	工事費、調査費	1,800	人家21戸、市道2,998m
	完成時	平成28年	4.0	1,326	工事費、調査費	5,261	人家21戸、市道2,998m

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。